



ご購入ありがとうございます

2月18日(木)

発行所 長野日報社

〒392-8611 諏訪市高島3 ☎0266-52-2000(代)

©長野日報社2021

ニュースヘッドライン

高校生が点字機試作 11

駒ヶ根工業高校電気科3年の生徒3人による自動で点字を打つ点字機械の試作品発表会があり、



「地域を巻き込んだ取り組みが形になった」と喜びの声を上げた。

点字機械 苦心の力作

駒工高電気科 3年の3人 手動の負担軽減したい

自動で点字を打つ点字機械の製作に取り組んできた駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)電気科3年の生徒3人による試作品発表会が17日、同市中央のこまがね市民活動支援センター・ばとなどであった。社会福祉施設に寄贈して、手動で点字を打つ人の負担を和らげることができればと、苦心しながら作り上げた力作。製作に関わってきた市内の企業や福祉グループなどが、「地域を巻き込んだ取り組みが一つの形になった」と喜びの声を上げた。

(寺田英祥)

福祉グループと共同開発

生徒たちは課題研究で、市内の企業からの提案を受け、名刺用の点字機械の製作に着手。駒ヶ根点字サークルに点字の打ち方を教わってきた。点字機械の開発は、市えがおポイント事業推進協議会からの助成金も受けた。圧縮空気エネルギーを動力

に制御技術を活用して、自動で名刺に点字を打つ点字機械。台座には、団体名や氏名など最大75文字を想定し、計450個の穴を設けている。操作時には穴にピンを差し込み、紙をセッティング。空気で点を打っていく仕組み。ただ、圧力不足などから一度

で最大3文字しか表現できず、実用する上では未完成。生徒らは後輩たちに研究を引き継ぎたいと考えた。「福祉にも興味があった」という北原愛海さん(18)は



点字機械を製作した生徒たち

「使う人の安全面を考えながら製作した。就職先で良いものを作り、たくさんの人に喜んでもらえるようにしたい」と話した。